

令和6（2024）年度学校法人福岡大学事業計画



学校法人福岡大学では、令和 16（2034）年の福岡大学創立 100 周年に向けた将来像^{*}を掲げ、その実現に向け、これからの 15 年間で 3 期に分けたうえで、令和 2（2020）年からの 5 か年の行動計画として、「学校法人福岡大学中長期計画（第 1 期 2020-2024）」を策定しました。この第 1 期中長期計画では、「教育」「研究」「医療」「地域連携・社会貢献」「組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備」の 5 つの重点項目（分野）について、本法人としての目標及び推進項目を設定し、従来から取り組んできた単年度ごとの事業計画と連動させることにより、確実に計画を実施しているところです。

令和 6 年度学校法人福岡大学事業計画では、少子高齢化の進行、グローバル化の進展、科学技術の発展等に伴う高等教育機関を取り巻く環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による生活や価値観の劇的な変容を受け、先行きが見えにくい時代に対応するため、教育改革や施設整備、情報化、バリアフリー化などの重点的に取り組む内容を掲げました。

具体的には、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの新たなカリキュラムの検討」「カーボンニュートラルの推進に向けた研究活動等の支援・調整」「病院経営基盤の強化」「障がい者雇用の促進による多様な人材の活用」「建物内のバリアフリー化計画の検討」「学内情報システム更新プロジェクトロードマップに基づく情報化の推進（第一期）」など、中長期計画に掲げる 5 つの分野ごとに取り組む項目を掲げています（詳しくは次頁以降をご覧ください）。

令和 16（2034）年に迎える福岡大学創立 100 周年とその先に向け、建学の精神に基づき、教職員が一丸となり、この事業計画を着実に実行するとともに、新しい福岡大学の基盤構築を推し進めていくことで、教育・研究・医療を通じた社会貢献に寄与するよう邁進してまいります。

令和 16（2034）年の福岡大学創立 100 周年に向けた将来像

時代と社会の要請に即応し、総合力を力強く発揮することで、地域と世界に向け、躍動する人材の育成とイノベーションを創出する拠点を目指す

主な取組項目

1. 教育

(1) 大学

- ・ 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの新たなカリキュラムの検討
- ・ 共通教育の DP（ディプロマ・ポリシー）に基づいた授業の展開
- ・ 交換留学における派遣学生の増加に向けた諸施策の実施
- ・ 自治体等との連携による公開講座の展開
- ・ 学生がチームで企業や自治体が抱える課題の解決に取り組むプログラム(PBL)の推進
- ・ 図書館施設の快適性の向上に向けた環境整備
- ・ 学生の主体的な学びの促進や学修支援に向けた ICT による教育支援環境の整備

(2) 附属学校

① 附属学校共通

- ・ 国際交流教室や海外短期語学研修等によるグローバル教育の実施
- ・ 国際交流協定校との交流等による国際理解教育の実施

② 大濠中学・高等学校

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進
- ・ 高大連携やポートフォリオ（学習過程並びに成果の記録）等を通じたキャリア教育の推進

③ 若葉高等学校

- ・ 「新教育ビジョン」の検証と改革の推進
- ・ 進路指導力向上に向けた教員研修の実施と進路講話等の進路学習の充実

2. 研究

- ・ 研究成果（知的財産）の活用の促進
- ・ 安全保障輸出管理に係る管理体制の充実
- ・ カーボンニュートラルの推進に向けた研究活動等の支援・調整
- ・ 有望な研究シーズを有する研究者に対する大学発ベンチャーの創出支援

3. 医療

(1) 医療施設共通

- ・ 病院経営基盤の強化
- ・ 医師の働き方改革への対応

(2) 福岡大学病院

- ・ 将来計画（経営改革計画）の実行・進捗管理
- ・ 特定機能病院としての高度医療の提供
- ・ 救急医療の拡充による救急車搬入数の増加に向けた諸施策の実施

(3) 福岡大学筑紫病院

- ・ 将来計画（経営改革計画）の推進と診療体制の再構築
- ・ 手術支援ロボットの新規導入、高額医療機器（血管造影、CT、MRI）更新の計画策定

(4) 福岡大学西新病院

- ・ 福岡大学西新病院新病院（仮称）新築に係る実施設計、着工等に向けた実施計画等の策定

4. 地域連携・社会貢献

- ・ 地域関連事業の整理・統合及び情報収集・発信
- ・ 「福岡未来創造プラットフォーム中長期計画 2019-2024」に基づく産学官連携・交流の促進

5. 組織改革・施設整備・財政基盤・人事制度

- ・ ガバナンス機能の強化に向けた体制、制度構築
- ・ 感染症等に対応した BCP（事業継続計画）の策定
- ・ 障がい者雇用の促進による多様な人材の活用
- ・ 広報意識の学内醸成および新たなブランドイメージの創出（教育・研究・医療・スポーツの情報発信強化）
- ・ 予算編成方法の見直し及び事業成果に基づく予算編成評価基準の策定による収支バランスの適正化
- ・ 奨学基金の拡充
- ・ キャンパスマスタープランに則った建物の新築工事等を踏まえた既存施設の有効利用の検討
- ・ 建物内のバリアフリー化計画の実施・検討
- ・ 学内情報システム更新プロジェクトロードマップに基づく情報化の推進（第一期）